

3日
告示
岩国市長選 32

民主主義を守る選挙

18
19
ウイルス性肝炎 350万人救済急げ



「再訳朝鮮詩集」29
金時鐘さん



初マラソン
福士加代子選手 10

マドンナ「ロックの殿堂」入り 30

7
高年齢者の医療大改善
知っておきたい

4
5
経済の軸足を家計に
志位さん、市田さん代表質問

人間ドキュメント 3
全壘(ろう)の作曲家
佐村河内守さん

園芸農家の燃料費 3倍、月100万円



重油の高騰でコチョウランを育てる園芸農家は経営が圧迫されています=19日、千葉・佐倉市

原油価格の高騰がガソリン、灯油などの値上げとなって国民生活を直撃しています。高騰の最大の原因は、巨額投機マネーの暴走です。

取材班

日中でも氷点下の青森市。同市の茂木ナツエさん(76)は石油ストーブをつけていても「寒い」といいます。「パーキンソン病の夫の介護で夜中に4回は起きるため、灯油が高くて暖房をきくことができません。生活保護を受けています。が、フロを週1回にして出費を抑えている」

千葉県佐倉市の園芸農家、斉藤和(かのう)さん(66)は、3棟の温室で年1万鉢のコチョウランを出荷しています。ハウスの暖房が欠かせないのに「燃料(A重油)費は4年前の3倍近く。月約100万円はかかる」といいます。

原油高 暴走投機マネー



原油価格が史上初の1バレル=100ドルをつけたニューヨーク商業取引所=2日(ロイター)

「負担増分を転嫁するどころか、花の価格は下がり気味で給料すら出ない。借金もあるのに…。投機による石油高騰で、なぜ私たちが被害を受けるのか」

他方、都心のオフィスの一室。ここに、元大手証券会社幹部が代表をつとめるヘッジファンドの会社があります。動かす資金は、100億円以上です。ヘッジファンドと

は、投機マネーの代表格。その資金量は世界で190兆円近く(2007年3月末)にも。この代表が語りま

「ヘッジファンドは高い絶対収益の追求が至上課題。年20%前後のもうけが目標だ。もうかるなら、株式から債券、通貨、商品先物なんでもやるよ」

顧客がもうかっただけの20%を成功報酬として会社が受け取れる契約にもなっている

商品市場の池で「鯨」大暴れ

「株式も為替もいまはそんなにもうからない。株式や為替の市場規模が海とすれば、原油などの商品市場は池みたいなもの。そこに巨額の金を入れれば、自由に市場を動かせる。池でクジラが暴れているようなものだ」

規制が必要

実際の需要と供給関係なら1割50%程度なのに、投機資金で9割にはね上がっている

「と専門家も指摘します。いま世界では貿易の100倍近いマネーが飛びかき、さまざま投機の動きが。もうけるのは銀行など機関投資家や富裕層です。」

大手銀行の元役員が語ります。「実はうちの銀行もヘッジファンド投資していた。100億円単位だ」

金融庁の調査でも、大手銀行などの金融機関が保有するヘッジファンドは7・4兆円も。そこには情報公開も規制も及びません。前出の元役員はいいます。

「ヘッジファンドを支えているのは金融機関だといわれれば、返す言葉はない。個人的には、原油などの商品まで投機の対象にするのはおかしいと思う。資本主義の暴走だよ。一定の規制が必要だ」

6面にQ&A